
ury's Episode X ～亜空の使者～ a new translation

委員長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Another Century Episode X
亜空の使者（a new translation）

【Nコード】

N1552W

【作者名】

委員長

【あらすじ】

統一歴060年、第一次防衛戦争（A・C・E・2）から三年、世界は平和を取り戻しつつあった。だが、世界中に突如未確認生命体が出没。原因がすでに廃棄されたはずのバルドナ・ドライブにあることを知ったUCE本部はナデシコBを調査に言う向かわせた。だが、バルドナ・ドライブ付近でナデシコBは消息不明になる…。それを搜索するために再度「アルビオン隊」が再編成される…。だが彼らも謎の黒い渦に吞まれてしまう…。そして彼らが訪

れた世界は「スマッシュブラザーズ」と呼ばれる世界だった…
たな仲間と共に、亜空を切り裂け！！エースの魂！！ 新

第一話「アルビオン出航」(前書き)

新規参戦として「機動戦士ガンダムUC」が登場します!!

第一話「アルビオン出航」

「何！？ナデシコBが消息を断ったと言うのか！？」

地球統一機構（“United Community of the Earth” 通称UCE）の最高司令官「ミスマル・コウイチロウ」はテーブルを叩いた。

ナデシコB：3年前に起こった第一次防衛戦争において民間企業ネルガルが開発した機動戦艦で後にUCEの主力艦として常に最前線で戦い抜いたナデシコAの後継艦に当たる艦であり、艦長はかつてナデシコAで副長を務めた天才少女、ホシノ・ルリ少佐が務めている。

「はい……本当に突然……反応が消失しました……」

UCE局員の1人「リンダ・プラート」がコウイチロウに答える。

「確か……消失したポイントはバルドナ・ドライブであったな……？」

因みにコウイチロウの言う『バルドナ・ドライブ』とは、科学者ジル・バルドナが開発した超長距離移動用の海に浮かぶ巨大建造物の事である。

しかし、現在はボソンプの応用などの技術が進歩し、開発は一時中止されたはずであった。

「現在この基地に配備されている艦はアルビオンしかありませんが……」

第一次防衛戦争の後、UCEでは軍備縮小を始めており、3年前に運用されていた艦をそのまま利用する事も珍しくはなかったのだ。

る。

「うむ、やむを得まい。アルビオンのクルーを再度召集し、バルドナ・ドライブの調査に向かわせろ！！」

UCEのペガサス級揚陸艦、アルビオン。

かつての『一年戦争』と呼ばれた宇宙戦争で数多くの戦果を上げた地球連邦軍ペガサス級揚陸艦『ホワイトベース』の正統な後継艦であり、過去に起きた『第一次防衛戦争』を戦い抜いた艦である。

同時期に活躍したナデシコAは退役艦となり、同じく同時期に活躍していたマクロスはマクロス・シェイに平和のシンボルとして残されていたが、アルビオンだけはUCEに残されていた。

その艦のブリッジに様々な人員が集められていた。

モニターごしにコウは非常に焦った表情になる。

「ウラキ中尉、入ります。」

既に様々な人達が集まっている中、かつての第一次防衛戦争でガンダム試作2号機強奪事件をきっかけにガンダム試作1号機、3号機と乗り継いで防衛戦争を戦い抜いた英雄の1人「コウ・ウラキ」が

入室する。

「ウラキ、貴様で最後だぞ!!」

「も、申し訳ございません大尉!!」

コウに一喝した人物はコウの上司でアルビオンに乗って防衛戦争では副長役を務めた「サウス・バニング」と言う褐色肌で金髪の男性である。

「…全員集まったか。懐かしい顔ぶれだな。」

先程まで艦長席に座って後ろを向いていた男性「エイパー・シナプス」がコウ達に振り返って言う。

「…さて、懐かしい顔ぶれもあるが新入りも複数いる。紹介しておくでしょう。」

シナプスが言うと彼の背後から三人の人物が姿を現した。

「自分はロンド・ベル所属ノーム中隊からこちらに回されたりディ・マーセナス少尉であります!!」

若々しい金髪の青年が初々しく言う。

「この度は同じロンド・ベル所属のナデシコBが消息不明になったと聞いてこちらに配属になる事を決めました!! よろしく願います!!」

「まだ若いようだな。」

リディにバニングが声をかける。

「ま、まあ…はい……」

少し恥ずかしげにバニングに答える。

「そちらの二人は…見た所民間人みたいに見えるんだけど……」

コウが残る二人の人物を見て言う。

「…バナージ・リンクスです。ユニコーンガンダムのパイロットとしてここに来ました……」

黒髪の少年がコウに言う。

「ユニコーン……ガンダム？」

「アナハイムが開発した新型のMSらしい。彼は偶然その機体に乗
り込み、機体を私物化してしまったようだ。」

疑問を感じるコウにバニングが言う。

「そして彼女がオードリー・バーンです…。」

バナージは隣金髪の少女を指して言う。

「彼等はこちらに来る途中にリディ少尉に保護されたらしい。」

バニングが続いて話す。

「保護されたって…どういふ事なんですか？」

コウが再び疑問を感じる。

「理由は全く不明だ…リディ少尉がこちらに向かう途中に突然辺りが暗くなり…」

「彼等を発見したんです。最初は機種不明だったので驚きました…」

バニングにリディが言葉を繋げる。

「…とまあ、アクセントもあつた訳だが、彼等も一応は保護の形でアルビオンに乗艦する事になった。

調査が終了次第、ユニコーンガンダムは残して彼等是最寄りの街にでも解放する手筈となっている。

そして、我々にとっても懐かしい顔ぶれもいる。」

シナプスが言うとともに5人の人物が姿を現した。

「よう！！久しぶりだなコウ！！バニング大尉！！」

元気な表情でコウ達に挨拶する茶髪で三つ編みの少年「デュオ・マックスウェル」、

「お久しぶりで皆さん。」

、
温厚な笑顔を見せるアラブ系の少年「カトル・ラバーバ・ウィナー」

「…ナデシコBが消息を断ったようだな……」

と暗い口調で話す特徴的な前髪を持つ少年「トロワ・バートン」、

「……………」

何も喋らない中国系の少年「張五飛^{チャウフエイ}」、

「残念ながらヒロは別の任務をやっているが我々プリベントーが全面的に協力する事になった。よろしくな。」

そして白髪の長髪の男性、火消しの風^{ウインド}こと「ゼクス・マーキス」の5人である。

「後は現場でタック・ケプフォード中尉が合流する手筈となっている。」

これで新たなアルビオンのパイロットが揃った訳だな。」

全員の顔を見てシナプスが言う。

「艦長、アルビオンの出航準備、完了致しました!!」

アルビオンの通信士のスコットがシナプスに言う。

「うむ…今回の調査だが、何が起こるか解らん。覚悟をしておくようにな。」

アルビオン、出航せよ!!」

シナプスは船員全員に対して言う。

そして、バレル達の裏でアナザー・ストーリーが今、始まろうとしている……

第一話「アルビオン出航」(後書き)

初登場キャラ

▼機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY

- ・コウ
- ・バニング
- ・シナプス
- ・スコット

▼新機動戦記ガンダムW Endless Waltz

- ・デュオ
- ・カトル
- ・トロワ
- ・五飛
- ・ゼクス

▼機動戦士ガンダムUC

- ・バナージ
- ・オードリー
- ・リディ

▼劇場版機動戦艦ナデシコ the prince of darkness

- ・コウイチロウ

▼機甲戦記ドラグナー

・リンダ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1552w/>

Another Century's Episode X ～亜空の使者～ a new translation

2011年10月9日14時19分発行